

Windows による ssh での学外からの接続方法

学術情報処理センター

江藤博文

etoh@cc.saga-u.ac.jp

1 はじめに

学術情報処理センターではセキュリティ確保のため、パスワードやコマンドがそのままネットワークを流れる telnet による外部接続を閉鎖します。その代替方法としてパスワードやコマンドを暗号化してネットワークを流れる ssh (Secure Socket Shell) が利用可能です。ここでは、Windows による ssh での接続方法について説明します。

2 必要ソフト

「TeraTermPro ver.2.3 for Windows95/NT」を <http://www.vector.co.jp/authors/VA002416/> から、「TTSSH:An SSH Extension to Teraterm 1.5.4」を <http://www.zip.com.au/roca/ttssh.html> からダウンロードして下さい。TTSSH は必ずバージョン 1.5.4 以降を使用してください。

3 ソフトのインストール

必ず TeraTermPro をインストールした後で、TTSSH をインストールしてください。

3.1 TeraTermPro のインストール

上記ホームページからダウンロードした TeraTermPro の圧縮ファイルを解凍 (展開) する。解凍 (展開) したファイルの中の「Setup」を実行するとインストールされます。

3.2 TTSSH のインストール

上記ホームページからダウンロードした TTSSH の圧縮ファイルを TeraTermPro をインストールしたディレクトリ (フォルダ) に解凍 (展開) する。TeraTermPro のデフォルトのインストールディレクトリ (フォルダ) は「C:\Program Files\ttermpro」です。TeraTermPro インストールの際にインストールディレクトリ (フォルダ) を変更した場合には、TTSSH を解凍 (展開) するディレクトリ (フォルダ) も変更して下さい。

4 SSH の利用するための準備

インストール直後では ttssh.exe を起動すれば ssh は利用可能ですが、複数の ttssh.exe や TeraTermPro が起動できない等の制限があります。しかし、環境変数を設定することで TeraTermPro

を起動するだけで自動的に ttssh が利用可能となります。

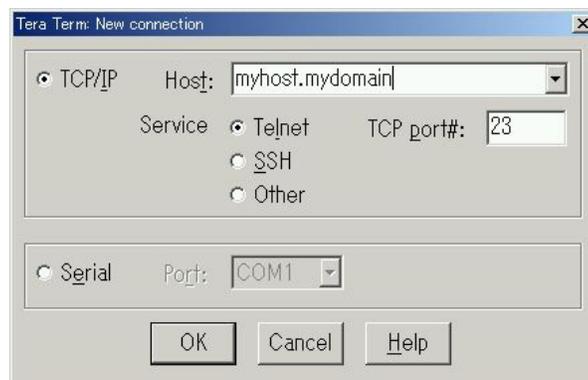
設定する環境変数は”TERATERM_EXTENSIONS” で、値は”1” です。以下に Windows の各バージョンの設定方法を掲載します。

OS	設定方法	
Windows95/98	c:\autoexec.bat に以下の一行を追加し、再起動する。 set TERATERM_EXTENSIONS=1	
WindowsME	「スタート」 「ファイル名を指定して実行」 「名前」に”msconfig”を入力して「OK」 「システム環境ユーティリティ」が起動 「環境」タグ 「新規」 変数名に”TERATERM_EXTENSIONS”、値に”1”を入力 入力後、TERATERM_EXTENSIONS の左のチェックボックスをチェック 「OK」で再起動	
対象	現在のログオンユーザのみ	全てのユーザ
WindowsNT4.0	「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「システム」 「環境」タグ 「” ログオンユーザ” の環境変数」の「新規」 変数名に”TERATERM_EXTENSIONS”、 値に”1” を入力し「OK」 「OK」で終了	「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「システム」 「環境」タグ 「システム環境変数」の「新規」 変数名に”TERATERM_EXTENSIONS”、 値に”1” を入力し「OK」 「OK」で終了
Windows2000	「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「システム」 「詳細」タグ 「環境変数」 「” ログオン” ユーザ環境変数」の「新規」 変数名に”TERATERM_EXTENSIONS”、 変数値に”1” を入力し「OK」 「OK」で終了	「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「システム」 「詳細」タグ 「環境変数」 「システム環境変数」の「新規」 変数名に”TERATERM_EXTENSIONS”、 変数値に”1” を入力し「OK」 「OK」で終了

5 SSH の利用

5.1 TeraTerm の起動

TeraTermPro を起動します。通常は「スタート」 「プログラム」に登録されています。初期画面で、環境変数の設定が正常に行われていれば「Service」に「SSH」が表示されます。「SSH」の表示が無い場合は上記「ssh を利用するための準備」を確認して下さい。



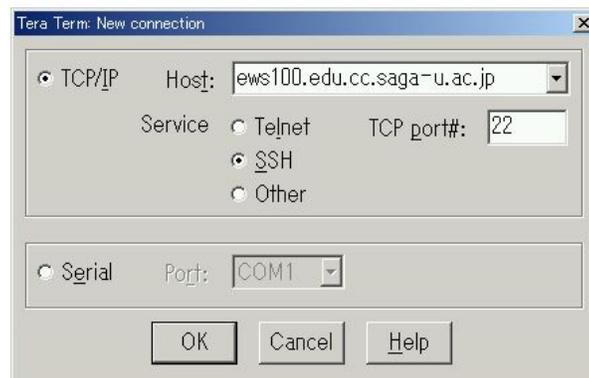
5.2 ホスト名の入力、SSH の選択

センターには研究システムと教育システムがあり、作業内容によりログインするホストが違いますのでご注意ください。以下に研究システムと教育システムの利用目的及びホストの一覧を掲載します。

研究システムと教育システムの利用目的及びホスト		
	研究システム	教育システム
利用目的	研究用アプリケーション利用 教職員メール利用	利用者ウェブ作成利用 学生およびセンター演習担当教員メール利用
ホスト	ogi.cc.saga-u.ac.jp	furuyu.edu.cc.saga-u.ac.jp

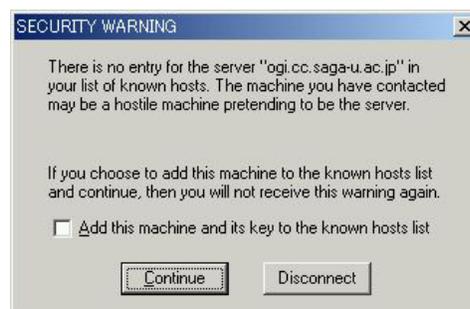
初期画面の「Host」にログインするホスト名を入力し、必ず「Service」で「SSH」のチェックボックスをチェックして下さい。

以下、ホスト「ews100.edu.cc.saga-u.ac.jp」にログインする場合を示します。入力、チェックを行ったら「OK」ボタンを押して下さい。

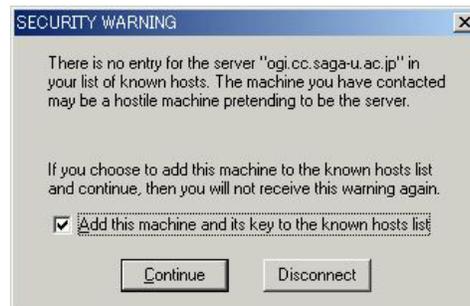


5.3 セキュリティ警告

初めて接続するホストの場合、以下の警告画面が表示されます。知らないホストなので、本当に接続しても良いのかを確認を求めています。

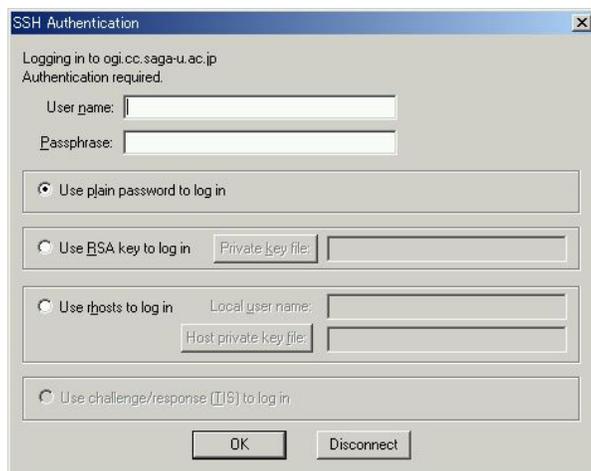


このまま「Continue」ボタンで接続できますが、接続の度にこの警告ウィンドウが表示されますので、良く接続するホストであればチェックボックスをチェックして「Continue」ボタンを押せば次回の接続からこの画面は表示されなくなります。

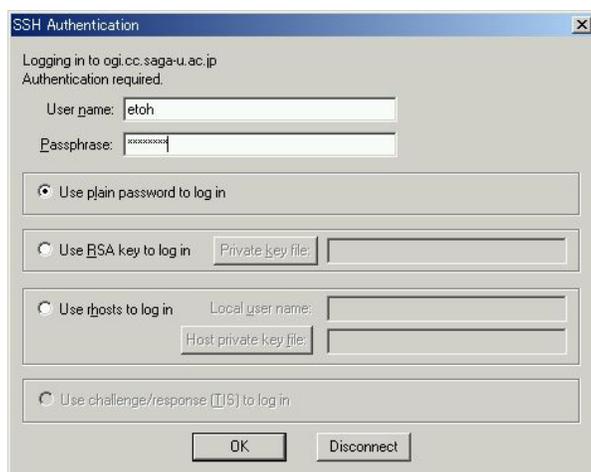


5.4 ユーザ名、パスワードの入力

ユーザ名とパスワードの入力画面です。初期状態では「Use plain password to login in」がチェックされており、通常の認証方法でログインできます。他の認証方法については省略します。



「User name:」にユーザ名(ユーザID)、「Passphrase:」にパスワードを入力します。入力例を示します。セキュリティ保護のためパスワードはアスタリスク(*)で表示されます。入力後、「OK」ボタンを押して下さい。



5.5 接続

接続直後の画面を示します。



6 終わりに

TTSSH は ssh version1 のみに対応しています。センターのログイン可能ホストはすべて対応済みです。各学部、学科、研究室のホストの sshd のバージョンについては各管理者にお尋ねください。